

平成30年度の重点課題

○「握力」において低学年の女子が県平均・全国平均を下回っている。昨年度と比較しても、下回っている。

○県平均・全国平均を上回っていても、「握力」「長座体前屈」「立ち幅跳び」の3種目は、前年度の自己記録より伸びていない児童が半数である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○「柔軟コーナー」を校舎内に設け、業前運動の1つとして取組んだ。体育の授業の準備運動に柔軟体操をしたり、柔軟性を高めるゲームを取り入れたりする活動を行った。

○教室内でグーパー運動やボール・グリップ握りをして握力を高め、握力計で測定して自分の握力の増減を認識させた。

平成31年度新体力テストの結果(県平均値(平成30年度)・全国平均値(平成29年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	8.00	18.33	29.33	32.00	26.00	11.08	133.00	7.87	36.67	第1学年	8.00	20.00	30.50	31.00	33.00	11.01	121.50	5.50	41.50
第2学年	9.50	10.75	30.75	36.00	38.50	11.00	131.75	14.50	39.25	第2学年	9.00	13.50	36.50	30.50	37.00	10.75	128.00	8.00	43.00
第3学年	12.33	24.00	30.00	41.67	54.67	9.43	146.67	22.33	52.67	第3学年	11.80	20.60	35.00	39.40	41.40	10.14	130.40	12.60	51.80
第4学年	18.00	27.00	37.67	47.33	58.00	9.43	159.67	31.33	61.67	第4学年	16.00	26.50	38.50	44.00	41.50	9.40	134.50	17.50	60.00
第5学年	15.00	18.00	38.00	40.67	66.00	9.63	152.67	24.67	53.87	第5学年									
第6学年	19.67	23.00	32.50	49.17	73.33	8.57	152.17	40.00	63.67	第6学年	23.00	13.00	39.00	40.00	43.00	9.10	146.00	17.00	58.00

県平均値が全国平均値未満

平成31年度新体力テストの結果(県平均値(平成31年度)・全国平均値(平成30年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第1学年	8.00	18.33	29.33	32.00	26.00	11.08	133.00	7.87	36.67	第1学年	8.00	20.00	30.50	31.00	33.00	11.01	121.50	5.50	41.50
第2学年	9.50	10.75	30.75	36.00	38.50	11.00	131.75	14.50	39.25	第2学年	9.00	13.50	36.50	30.50	37.00	10.75	128.00	8.00	43.00
第3学年	12.33	24.00	30.00	41.67	54.67	9.43	146.67	22.33	52.67	第3学年	11.80	20.60	35.00	39.40	41.40	10.14	130.40	12.60	51.80
第4学年	18.00	27.00	37.67	47.33	58.00	9.43	159.67	31.33	61.67	第4学年	16.00	26.50	38.50	44.00	41.50	9.40	134.50	17.50	60.00
第5学年	15.00	18.00	38.00	40.67	66.00	9.63	152.67	24.67	53.87	第5学年									
第6学年	19.67	23.00	32.50	49.17	73.33	8.57	152.17	40.00	63.67	第6学年	23.00	13.00	39.00	40.00	43.00	9.10	146.00	17.00	58.00

県平均値が全国平均値未満

重点課題

○全体の平均は昨年度に比べ向上しているが、「握力」における数値が、全国・県平均を下回る児童が増加しており、昨年と比較しても半数の学級が前年度の平均を下回っている。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

- 児童個々の目標を設定させ、教室内のグーパー運動やボール・グリップ握りを行い握力を高め、定期的な測定を行う。
- 「柔軟コーナー」を校舎に設け、業前運動の1つとして取組ませる。体育の授業の準備運動に柔軟体操をしたり、柔軟性を高めるゲームを取り入れたりする。
- 業前運動や体育の時間、休憩時間を通して体力向上に取り組む遊びに取り組ませる。

令和2年度の目標値

- 「握力」で全国平均・県平均を上回る児童の割合を60%以上にする。
- 「20mシャトルラン」「長座体前屈」は、本年度の結果をキープする。